



イマジン ロータリー

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年



Rotary District 2640 Japan

**ROTARY CLUB OF KAINAN EAST**

**海南東ロータリークラブ**

会長 中村 俊之 幹事 千賀 知起 SAA 田中 淳

## 第 2118 回例会

2022 年 11 月 28 日 (月)

海南商工会議所 4F 12:30～

会員卓話

寺下 卓君 青少年関連委員長会議 報告

中村 俊之 君 米山記念奨学会委員長会議 報告

### 1. 開会点鐘

### 2. ロータリーソング 「四つのテスト」

### 3. 出席報告

会員総数 45 名 出席者数 23 名

出席義務規定適用免除会員 3 名

出席率 56.10% 前回修正出席率 53.66%

### 4. 会長スピーチ

会長 中村 俊之 君

皆さんこんにちは。本日も例会に参加していただきありがとうございます。

出張中の出来事を少しお話ししたいと思います。先週の例会終了後、車で千葉県木更津まで走り昨日まで出張に行ってきたわけですが、例会終了後にそのまま出かけた為にロータリーバッジを付けたままでして、最初のお客様にそのまま行くとお客様がロータリーバッジに気づき、ロータリーに入っているのだと、すぐさま海南東ロータリークラブのホームページを見てくれました。そしたら自分の顔がドアップで出てきまして、実は今会長をやっていますと言ったら、お客様も木更津ロータリークラブの幹事をやっているという事で、仕事の話そっちのけで、ロータリーの話で盛り上がりました。第2790地区木更津RCも約40名でうちと同じ規模のようです。なにより実は見たことが無かったのですが、かなりいいホームページを作っていました。寺下さんには改めて御礼申し上げます。ただ、私の顔が出てくる前に先ず、最初に海南イーストロータリーバンドの画像がでてくるところがちょっと気がかりですが。



本日の会員卓話は、寺下さんより、10月2日に開催された「青少年関連委員長会議」の報告、主にロータリーにおける危機管理についてと、9月18日に開催された「米山記念奨学会委員長会議」の報告となっています。昨今、セクハラ、パワハラ、モラハラという言葉をよく耳にするようになりました。先般、寺下さんから少しお話をさせていただいた明石RCの件や、芸能人の香川照之さん、大手企業の社長さんなど、逮捕や社会的制裁を負うような事案も出てきています。以前、山畑さんがニコニコで話された、男女平等、ジェンダーレスの問題もそうですが、私たち昭和生まれの年代にとっては大きく認識を変えていかななくてはならなくなってきています。今年はコロナも一応の落ち着きを見せており、年末にかけてお酒を飲む場も増えてくることと考えられます。本日の卓話を参考に危機意識をもって臨んでいただければと思います。

続いて10月冒頭の会長挨拶でもお話ししましたが、「米山記念奨学会」の事について補足程度のお話をさせていただきたいと思います。

報告事項

○紀美野町 キノコ食堂さんへの支援

12月9日(金) PM6:00～

例年通り3万円の寄付

参加予定者 中村、山畑、桑添、楠部

食事の準備があるので事前に人数を教えて欲しいと伺っています。もし参加できるようなら事務局かグループラインに連絡をお願いします。

○きうちこども食堂さん

12月17日(土) 16:30頃～

特別支援 クリスマスお菓子配布する予定です。

こちらも参加できる方よろしくをお願いします。

### 5. 幹事報告

幹事 千賀 知起 君

○例会変更のお知らせ

和歌山東RC 12月15日(木) →16日(金)

18:30～ ダイワロイネットホテル和歌山  
クリスマス家族会

那智勝浦RC 12月15日(木) →17日(土)

8:00～くろしお剣道大会  
那智勝浦体育文化会館

四つのテスト 通行はこれにのりしてから

①真実かどうか ③好意と友情を深められるか  
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002  
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)  
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

和歌山北 RC	12月19日(月)→24日(土)	18:30～ アバローム紀の国 年末夜間例会
和歌山 RC	12月20日(火)→20日(火)	18:30～ ホテルグランヴィア 年末家族会
和歌山東南 RC	12月21日(水)→24日(土)	18:30～ アバローム紀の国 クリスマス親睦家族例会
海南西 RC	12月22日(木)→22日(木)	19:00～ 忘年会 「ふじしろ庵・侘楓」
和歌山南 RC	12月23日(金)→25日(日)	18:00～ ダイワロイネットホテル クリスマス家族例会
高野山 RC	1月13日(金)→13日(金)	12:30～ 新年例会予定

#### ○休会のお知らせ

和歌山 RC	11月29日(火)	12月27日(火)
	1月3日(火)	
高野山 RC	12月2日(金)	30日(金)
	1月6日(金)	
和歌山北 RC	12月26日(月)	
和歌山東南 RC	12月28日(水)	
田辺東 RC	12月28日(水)	1月4日(水)
有田 2000RC	12月28日(水)	1月4日(水)
	11日(水)	
那智勝浦 RC	12月29日(木)	
有田 RC	12月29日(木)	
和歌山東 RC	12月29日(木)	
和歌山中 RC	12月30日(金)	
和歌山南 RC	12月30日(金)	1月6日(金)

## 6. 会員卓話

### ○青少年関連委員長会議報告

寺下 卓 君

危機管理とは、「リスク管理」の基本は、想定されるリスクが“起こらないように”そのリスクの原因となる事象の防止策を検討し、実行することです。「危機管理」は、危機は必ず起こるといふ考えを前提としたもので、危機が発生した場合に、その負の影響を最小限にするとともに、いち早く危機状態からの脱出・回復を図ることが基本となります。もちろん、防げる危機であればその発生を防ぐことが望ましいのですが、自然災害や外部要因による人的災害や事故などの中には、自助努力で防ぎえないものも多くあります。



危機管理に関して地区の役割で地区ガバナーは、地区プログラムを監督、管理する責務を担う。地区委員長とその他のボランティアは、ガバナーの監督下で活動し、ガバナーへの報告を行います。ガバナーが指名する危機管理委員会は、ガバナーが任命する(医師、弁護士を入れることを推奨する)組織とする。

法令上所定の機関への通告当の義務がある場合はこれに従うほか、犯罪に該当すると判断したときは、適時に刑事当局に対する手続きを行う。

地区として適切かつ一貫した対応を図り関係者の権利を保護するため、報道機関等の外部への発表は、危機管理委員会が定める者がこれにあたる。

クラブの役割はクラブの会長、各プログラム委員長、その他の役員でロータリークラブの各活動の運営は、会長が全体的な責任を負い、委員会が会長を支援します。クラブと地区および RI のあらゆるプログラム運営方針やハラスメントに関する方針および青少年保護方針を熟知し、方針と要件が必ず守られるようにする。必要な研修、審査、手続き調整、リスク管理を行う。地区の関係委員会委員長や役員と連携し、虐待、ハラスメント、その他のあらゆる申し立てに対して、即座かつ適切に対応する。

「青少年と接する際の行動規範に関する声明」(2019年10月 RI 理事会)は、ロータリーの活動に関する全ての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待からの身の安全を守るため、最善を尽くさねばならない。虐待やハラスメント(嫌がらせ)のすべての申し立ては、この事態の報告を受けてから **72 時間以内**に RI に報告するものとなり、これを怠った場合、厳しい制裁が行われることがありますので注意が必要です。

「ハラスメント」の定義は大まかに定義すると、個人またはグループを、あらゆる特性(年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認)に基づいて、言葉であれ身体的であれ、中傷、侮辱、または攻撃する言動を指す。

### ロータリアンの行動規範

(ロータリー章典 8.030.2.)

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

※行動規範はロータリアンの公私に亘る行動に適用されるもので、ロータリー活動に限定されない。

【第 2680 地区の事例】

事件認知後の危機管理委員会の活動

- ①クラブが把握している事実の確認
- ②犯行後逮捕迄の状況の確認
- ③今後のクラブの活動方針、予定
- ④地区の判断（ロータリー活動ではないこと）と当面の方針の確認

- ・ 犯行状況の調査の要請
  - ・ IA、米山奨学生、RYLA 受講生への対応
- ⑤聴取結果と地区見解を地区各クラブへ報告  
逮捕者 4 名の不起訴処分
- ・ 不起訴処分とは公訴を提起しない処分
  - ・ 不起訴処分の種類は多数（20 種）ある  
「罪とならず」、「嫌疑なし」、「嫌疑不十分」
  - ・ 本件は「起訴猶予」（新聞報道で明記）

「被疑事実が明白な場合において、被疑者の性格、年齢及び境遇、犯罪の軽重及び情状並びに犯罪後の状況により訴追を必要としないときにする処分をいう」

- ・ 起訴猶予を相当としない事情が発生した場合「再起」して公訴を提起できる。
- ・ 起訴猶予は起訴をしないだけ。無実とは別の問題

地区危機管理委員会の設置と活動方法

1. 日本では青少年交換を実施する限り、地区危機管理委員会の設置は義務となっている
2. 危機管理対応は緊急性を要し、予め国レベルの法例だけでなく、ロータリーの規約の知識全般を習得しておく必要がある
3. セミナー等を開催することで、クラブだけでなく地区自身知識を習得し、まとめることができる
4. 青少年活動について詳しい者、弁護士、医師などの専門家委員は不可欠

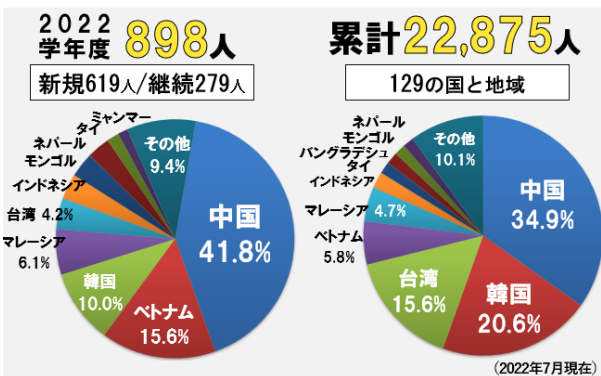
○米山記念奨学会委員長会議報告 中村 俊之 君  
米山奨学事業の概要

- ・ 日本のロータリー独自の事業（日本全国 34 地区の合同活動）
- ・ 日本で学ぶ外国人留学生の支援（公益財団法人を設立し運営）
- ・ 世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視 “人を育てる事業”



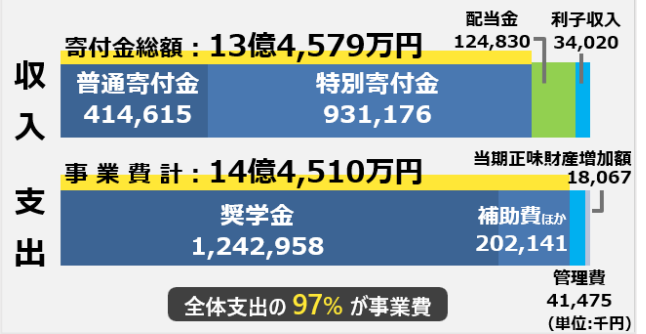
「米山基金」創設から 70 年を迎えます。そして、今日では国内最大級の奨学生数となりました。

## 国内最大級の奨学生数

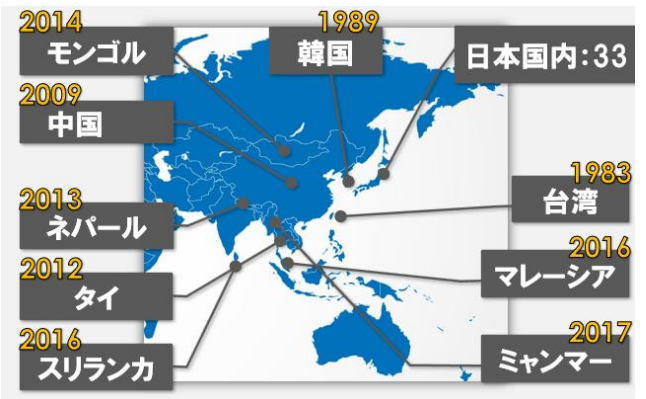


## ご寄付は奨学事業に

・ 寄付はその前年とほぼ同額



## 学友会（国内33、海外9）



## 学友会の活動【国内】



米山記念奨学生を経て、学友となった人からロータリアンに 272 人。ガバナーになった学友が 3 人。学友が作った RC が 6 クラブあります。

台湾	韓国	中国	その他
85人	71人	59人	57人

## 恩返し of 気持ち

👉 学友からの寄付



## 奨学生に関わる危機管理

自然災害

病気・事故

ハラスメント



地区米山奨学委員会→危機管理委員会へ報告・対応

地区単位  
のLINE  
グループ等

2020学年度  
より現役奨  
学生の傷害  
保険  
(例会出席時)

奨学生  
→ハラスメント  
相談窓口  
  
ロータリアン  
→賠償責任保険



外国人留学生への奨学金

## ロータリー 米山記念 奨学事業

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援しています。皆様のご理解とご協力をお願いします。



### 7. 閉会点鐘

次回例会

第 2119 回 2022 年 12 月 5(月)  
美登利 19:00~  
年次総会、次年度役員選考  
予算進捗報告



## ニコニコ・BOX

田岡 郁敏 君 昨日、歯科医師会のゴルフに遅れて行ってきました。優勝して結婚記念祝いもしてきました。  
寺下 卓 君 本日卓話よろしくお祈りします。  
中村 俊之 君 ”

## 11月はロータリー財団月間



世界の植物種の 75%は、オオカバマダラなどの花粉媒介者に依存して生きています。

ロータリーの力を生かす

2015 年 6 月、当時セントクロイ国立景観河川の管理者だったスタインさんは、ロータリー第 5960 地区（ミネソタ州とウィスコンシン州の一部）のガバナーエレクトだったマーリーン・ガーグラックさんを国立公園の本部に招き、オオカバマダラやその他の花粉媒介者にとって不可欠な生息地の減少について話し合いました。

スタインさんは、物事を実現させるロータリーの力を知っていました。その数年前、ミネソタ州のスティルウォーター・サンライズ・ロータリークラブでプレゼンテーションを行い、第 5960 地区と国立公園局が覚書を締結するきっかけを作りました。その結果、セントクロイ川を渡る鳥たちが夏と冬に暮らす、米国中西部とコスタリカの国立公園の間で「姉妹公園」プロジェクトが行われることになったのです。これは、1930 年代にロータリアンが考案した国際平和公園（米国のグレイシャー国立公園とカナダのウォータートン湖国立公園を結ぶ）を参考にしたアイデアでした。

オペレーション・ポリネーション（授粉作戦）  
2015-16 年度ガバナーとして、ガーグラックさんは地区内の全 63 クラブを訪問して花粉媒介者の危機について話し、「花粉媒介の誓い」に参加して行動を起こすよう呼びかけました。また、東部のオオカバマダラ生息域にある全 74 地区のガバナーに手紙を送り、同じく行動することを求めました。その年の地区大会では、花粉媒介者のための植物が販売されました。2015 年 7 月、ガーグラックさんはウォルター・モンデール元米国副大統領（ミネソタ州在住）との会合に出席し、花粉媒介者の生息地を増やす方法について話し合いました。翌月には、スティルウォーターのロータリアンであるクレイグ・ライザーさんとベブ・ドリスコルさんとともに、ミネソタ州のベティ・マッコラム連邦下院議員と面会し、花粉媒介者の生息地増加に関心のある誰もが参加できる幅広い活動「オペレーション・ポリネーション」（授粉作戦）を開始しました。

<https://www.rotary.org/ja/rotarians-pledge-re-store-monarch-butterflies-disappearing-habitat>

環境の持続可能性に取り組むロータリー行動グループ（Environmental Sustainability Rotary Action Group、通称ESRAG）は、環境保護に関する幅広いプロジェクトに参加しています。